

久く

御み

山やま

町ちよう

つながる **心** みなぎる **活力**

京都南に「**きらめく**」まち

く夢いっぱいコンパクトタウンくみやま





住民の皆さんの応募写真と、インスタグラムで「#わたしの大好きなくみやま」をつけて投稿していただいた写真です。
皆さんの大好きな風景、思い出の場所など、くみやま愛溢れる写真が集まりました。
応募・投稿いただき、ありがとうございました。

#わたしの大好きなくみやま
くみやまフォトスナップ

みなさんの
くみやま愛
集めました

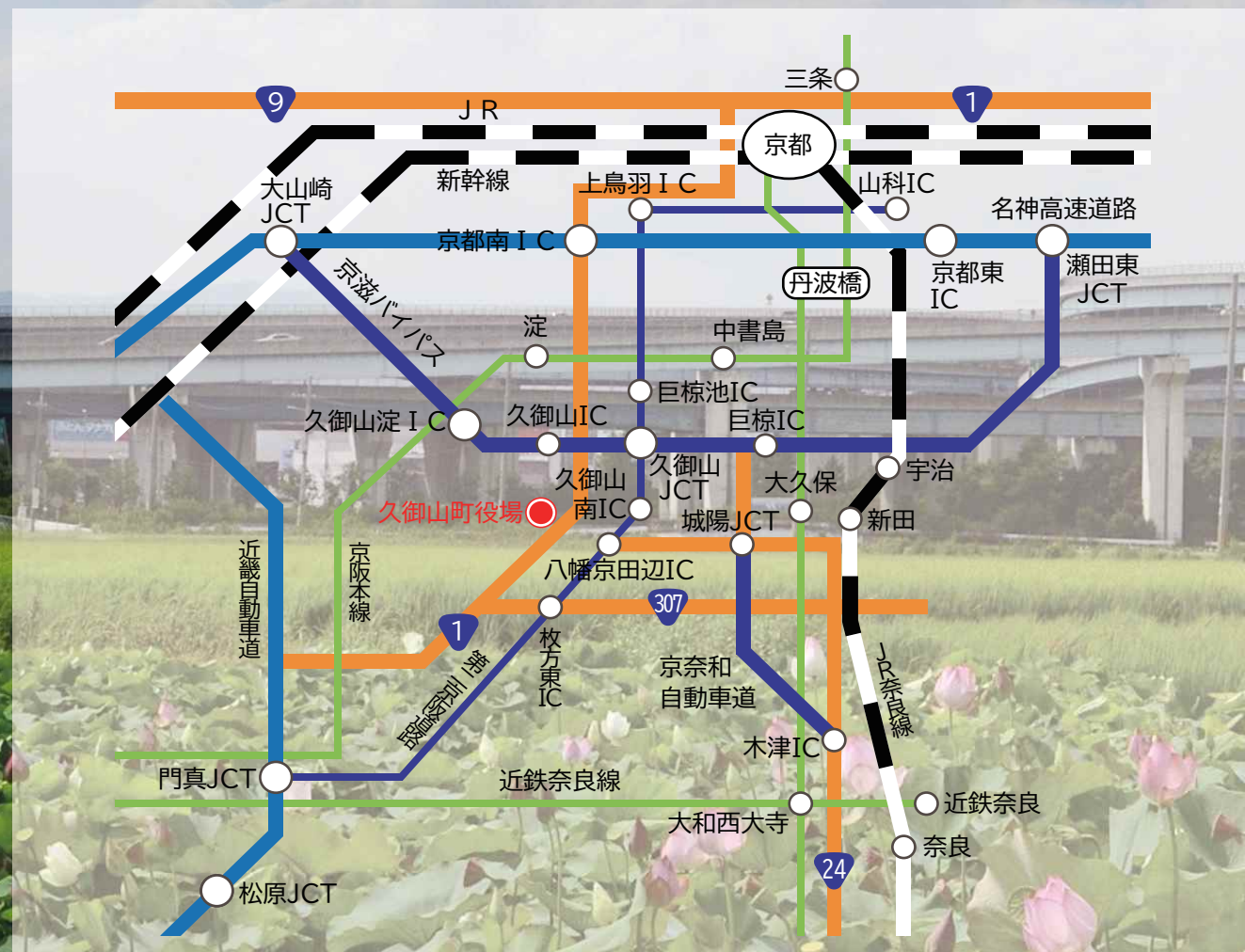
久御山町（令和6年4月1日現在）



東西の距離	3.5キロメートル
南北の距離	4.3キロメートル
昼夜間人口比率	206.6倍
平均気温	17.1℃
年総雨量	1,191ミリメートル
販売農家数	260戸
製造品出荷額 予算規模	約2,853億円 (令和6年度当初予算)

ACCESS

- 車で 京滋バイパス「久御山淀IC」 → 府道宇治淀線 → 久御山町役場
(約10分)
- 電車で 京都駅 → 近鉄京都線 → 大久保駅 → 京阪宇治バス → 久御山町役場
(約20分)



ごあいさつ

久御山町は、昭和29年に御牧村と佐山村の2村が合併し、誕生しました。農業と工業が調和したまちとして歩みを進めてきた久御山町は、町制を施行して、今年で70年を迎えました。

現在、本町では、「全世代・全員活躍まちづくりセンター」整備や、『食』をテーマに緑豊かな憩いの場と交流、遊びの場を創出することを目的とした「まちのにわ構想」の取組、産業・住宅立地に向けた「新市街地（みなくるタウン）」の整備などを進めております。さらに、ホテルやリハビリテーション病院の開業が予定され、これから数年をかけて本町は目に見えて大きく変貌を遂げてまいりますので、ご期待ください。

そして、SDGsの理念である誰ひとり取り残さない包摂性のあるまちづくり、さらに、まちの将来像として掲げている「つながる心 みなぎる活力 京都南に『きらめく』まち ～夢いっぱいコンパクトタウン くみやま～」の具現化に向け、これからも全力で取り組んでまいります。

これまで町の発展に寄与いただいた先人の皆さま、先輩諸兄の皆さまに改めて、心から敬意と感謝の意を表しますとともに、次の80年に向け、「次代に誇れる わがまち『くみやま』」を創造すべく、住民の皆さまと共に力強い第一歩を踏み出してまいります。



久御山町長
しんき やすたか
信貴 康孝



久御山町PR動画



▲PR動画

YouTubeで配信中

ええとこくみやま

久御山の絶景

久御山町は小さなまちですが、日本遺産や京都の自然200選に選ばれている景色など、みどころがたくさん。季節や時間によって違った景色を見せてくれます。

前川堤の桜並木

東一口の前川堤の両岸には約300本を数えるソメイヨシノが植えられ、4月初旬の開花期に両岸の堤を埋め尽くすように咲きそろった桜は見事です。

平成7年に「京都の自然200選」に選定されており、毎年、春の訪れとともに憩いの場として多くの人で賑わっています。



いちきんなな
くみやま夢タワー137

久御山町の「南のランドマーク」であるKBS京都ラジオ電波塔。日没から24時まで毎日ライトアップしており（令和元年11月から）、久御山町の魅力を発信しています。久御山町の地形はフラットで、町全域から確認することができます。登ることはできませんが、京都タワーより6℃高く、その存在は久御山の誇りです。



久御山ジャンクション

久御山町の「北のランドマーク」。左右対称の美しい構造を持つジャンクションは全国でも少数で、映画の撮影舞台や人気アニメのモデルにもなっています。また、夜の光跡撮影ではジャンクションのラインと光の線がキレイにマッチします。



流れ橋と両岸上津屋・浜台の
「浜茶」の景観

佐山浜台の木津川堤防の内側に広がる約4.7㌦の茶園では、てん茶が生産されています。令和3年に行われた第75回全国茶品評会のでん茶部門で、久御山町が全国1位の産地賞を受賞しました。この浜茶の景観は、平成28年に日本遺産に認定されており、風情あふれる茶畑や木津川の景色が広がっています。



木津川の夕焼け

久御山町の南部に沿って流れる一級河川。久御山町付近で宇治川、桂川とともに、淀川へ合流し、その水は大阪湾に流れています。木津川では、夕焼けや日の出を撮影する人が多く見られます。

人が集まり 生まれる笑顔

「中央公園の再整備」「新たな施設の建設」など、目に見えて大きく変わっていく久御山町。住民の皆さんが気軽に集まり、新たな賑わいと笑顔が生まれる。そんなまちづくりをめざして、久御山町は未来に向かって歩き出します。



1

中央公園に 新たな賑わいが誕生

久御山中央公園の再整備に向け、これからの公園の使い方を考えるために令和2年1月にスタートしたイベント「くみやままちのがっこう」。くみだん住民主体の団体KUMIDANが主体となり、ステージでのイベントや芝生広場でのキッチンカー出店など、中央公園に新たな賑わいが創出されています。まさに住民の皆さんによる地域活性化の実現です。



3

4



2

- ①ステージで太極拳を披露
- ②第1回まちのがっこう
- ③年齢なんて関係ない「チャレンジステージ」
- ④キッチンカーもたくさん出店「激うま焼きそば」

全ての住民が集まり 全世代が 活躍できる拠点

昭和50年にできた中央公民館は、久御山町の中心施設として皆さんに愛され、活躍してきましたが、老朽化や耐震強度の懸念から令和2年に閉館し、取り壊しました。その中央公民館跡地に生涯学習の拠点機能に加え、子育て支援・多世代の活動・文化交流などの機能を兼ね備えた複合施設を建設中。令和7年度中にオープン予定です。



1



2



3

- ①「全世代・全員活躍まちづくりセンター」完成イメージ
- ②どんなセンターになったらいいかを考えるワークショップ
- ③子どもだけの「まち」をつくるミニくみ

未来に向かって歩こう

町全域に「歩く文化」を定着させ、「歩く」を日常に取り入れることで『生涯にわたり心身が健康であり、笑顔があふれる』こと、『自然と賑わいと活力があふれるまち』になることをめざしている「歩くまち くみやま推進事業」。

歩くだけでなく、農産物直売所巡りやイモ掘り体験も行うウォーキングイベントなどもあり、たくさんの笑顔が生まれています。

また、事業所などを「歩く拠点」として認定し、歩くまち事業のパートナーとして一緒に取り組んでいます。



1

- ①みんなで楽しくウォーキング
- ②歩くまちパートナー（現在25の事業所などが認定中）
- ③久御山産野菜のスムージーで一服
- ④ウォーキング途中のイモ掘り体験



3



4



2

子どもの笑顔のため

久御山町では、0歳から18歳まで切れ目ない支援を行う子育て応援センター「はぐくみ」や、こども園・小学校の一貫教育を推進する「久御山学園」など、学校・地域・家庭・行政が協力し合い、子どもの成長を見守っています。

子どもたちが笑顔で元気に暮らせるように全力で子育てをサポートします。

子育て応援 はぐくみ定期便



令和5年5月からスタートした「はぐくみ定期便」。生後3か月から1歳までの子どものいる家庭にオムツやミルクなどの育児用品を毎月届けています。

訪問時には、産前産後訪問支援の資格をもった支援員が育児の悩みなどの相談にのり、町と一緒に子どもの成長を見守っています。

できたての温かい給食を 子どもたちに



久御山町のこども園・小学校・中学校の給食は、施設内の調理室で作る自園式・自校式を採用し、できたての温かい給食を子どもたちに提供しています。

お昼前には給食調理室から美味しそうな香りが漂い、子どもたちの食欲をそそります。



保育所・幼稚園の機能を 併せ持つ「認定こども園」



久御山町では、同一の年齢の子どもたちに等しく就学前教育を行うため、保育所・幼稚園の一体的教育・保育を進めてきました。

平成30年度から、町内全ての保育所・幼稚園を、両方の機能を併せ持つ「認定こども園」に移行し、施設一体型整備を進め、平成30年にさやまこども園、令和3年にとうずみこども園、令和4年にみまきこども園をリニューアルオープンしました。

同じ視点で全ての子どもに良質な環境を保障し、就学前の保育・教育を実施しています。



①水遊びで暑い夏を吹き飛ばせ。頭から水を被ってサイコー ②こども園には遊べるスペースがいっぱい ③こども園では多くの食材を取り入れた美味しい給食を提供しています。もぐもぐ美味しいね

これからの農業

久御山町の農業は、木津川・宇治川の氾濫や巨椋池の増水など水害に耐えながら行われてきましたが、昭和16年の巨椋池干拓事業が完了してからは、広々と広がる水田で稲作を中心に農業地帯として発展してきました。

昭和48年から始まったほ場整備事業によって稲作の大幅な省力化を図るとともに、収益性の高い野菜などの畑作への転換を進め、転作の定着化により、都市近郊地として優良な野菜産地を形成。ホウレンソウやコマツナなどの軟弱野菜を中心に、九条ネギ、淀ダイコン、キュウリやトマト、ナスなど多彩な野菜が栽培されています。

ここ数年、ホワイトコーンやイチゴの生産量が増大し、各々の農家が売り方を工夫してブランド化を図るなど、新たな特産品が誕生しています。

新たな特産品を開発

令和5年度から開始した「特産品等開発支援事業」。町内で生産された農産物を使った加工品や新しい品種の導入など、次世代の特産品にチャレンジする農業者などに補助をしています。

初年度は、西村農園が自ら生産した「京むらさき大根」を使用したドレッシングの開発を支援。西村夫妻は、規格外の野菜を無駄なく活用したいという想いからチャレンジされました。

西村農園は、毎年約50種類ものこだわり野菜を作る農園で、「京むらさき大根」は、こだわり野菜を作るきっかけとなった思い出深い野菜です。



▲さっぱりとした甘酸っぱさが好評の「京むらさき大根」を使用したドレッシング



新たな特産品

ホワイトコーン

ここ数年、飛躍的に生産量が増えている野菜があります。それが白いトウモロコシ、「ホワイトコーン」。生でも食べられるほど糖度が高いのが特徴です。

久御山町の大人気の特産品となっています。



▲生でも食べられる純白のトウモロコシ



▲朝から長蛇の列「ホワイトコーンまつり」

スマート技術を活用した これからの農業

令和元年度からスタートした「がんばる農家応援事業」。トラクターなどの農業機械の購入、先進地の視察や研修費用など、農業者が行うさまざまな取り組みに補助をしています。

スマート技術を活用した農業機械であるGPS付きのトラクターなど、これからの農業を支える新たな農業機械の導入が進められています。

また、有機農業や農業生産工程管理（GAP）の取り組みにより、環境負荷の低減や食品の安全性向上など、持続可能な農業への転換が図られています。



夢酒くみやま

夢酒くみやまは、フルーティな香りと上品な味が特徴の精米歩合60%の純米吟醸酒で、久御山町内で育てられた「京の輝き」を使用しています。

京の輝きは、大粒で酒造適正に優れた酒造用品種で、京都限定で栽培され、京都の酒蔵だけに卸されています。



九条ネギ

京のブランド製品のひとつで、甘みがあり、柔らかく、いろいろな料理に合います。

久御山町では自動包装施設やカットセンターが設置されるほど生産が盛んに行われています。





▲旧山田家住宅

旧山田家住宅

東一口の中ほどに壮大な長屋門を構えた旧山田家住宅があります。

山田家は江戸時代に御牧郷13か村をまとめた大庄屋で、巨椋池漁業の取りまとめ役を務めていました。

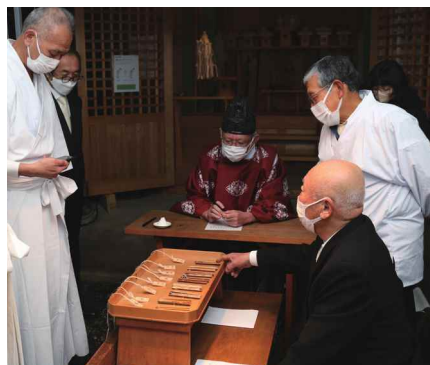
平成22年に国の登録有形文化財建造物に登録され、平成25年に所有者から久御山町に寄贈されました。



ひがしいもあらひ

東一口のトンド

京都府登録無形民俗文化財に登録されている東一口地域の伝統行事。藁や竹などで組み立て、点火したトンドをその年の恵方に倒し、無病息災を祈ります。



かゆうら しんじ

粥占神事

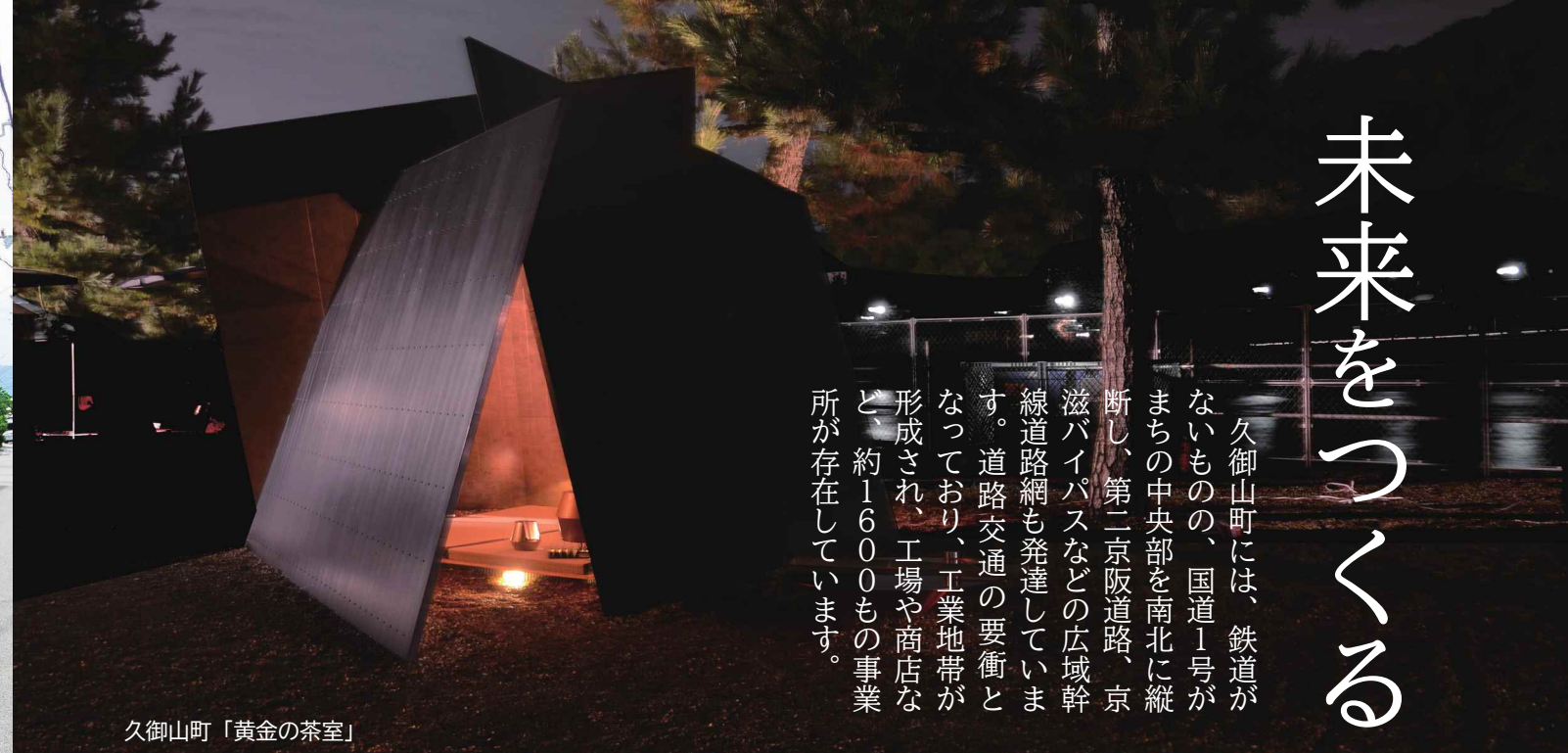
毎年1月15日の未明に雙栗神社で行われる伝統行事。竹筒と共に小豆粥を炊き、中の粥の詰まり具合でその年の農作物の豊凶を占います。



▲竹筒を割り、詰まり具合を確認

未来へつなぐ文化・伝統

久御山町の長い歴史の中で、東一口のトンドや、雙栗神社の粥占神事などの伝統行事が各地で引き継がれています。遺跡などに残っており、貴重な文化財が時を超えて引き継がれていきます。



久御山町「黄金の茶室」

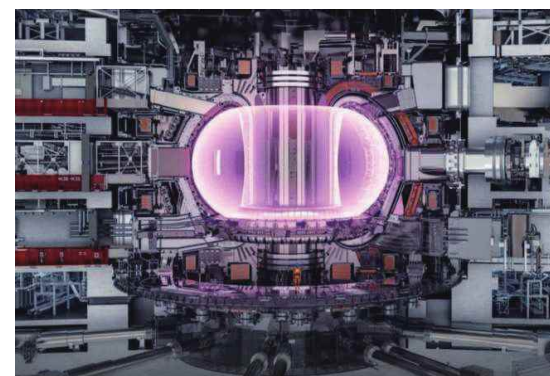
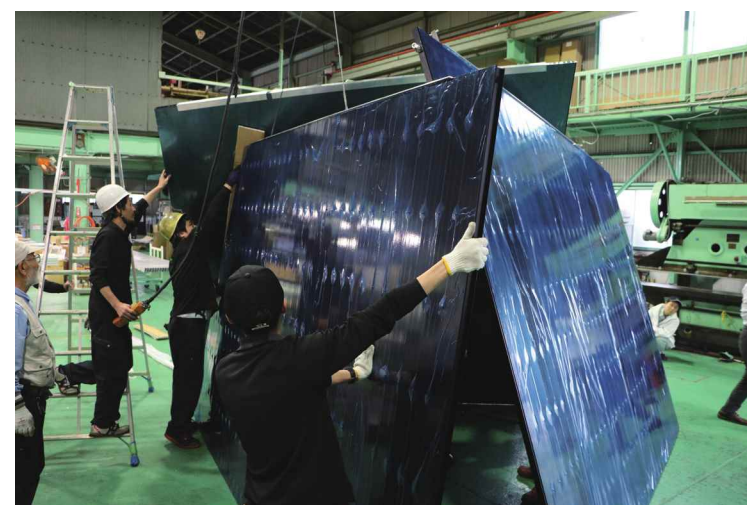
未来をつくる

久御山町には、鉄道がないものの、国道1号がまちの中央部を南北に縦断し、第二京阪道路、京滋バイパスなどの広域幹線道路網も発達しています。道路交通の要衝となっており、工業地帯が形成され、工場や商店など約1600もの事業所が存在しています。

技術の結晶

黄金の茶室といえば、豊臣秀吉が贅の限りを尽くして造った豪華絢爛な茶室。久御山町では、「ものづくりのまち」久御山の技術をPRするため、新たな解釈で黄金の茶室を製作。

平成29年の「お茶の京都博」を契機に、デザイン・設計に東京大学川添研究所を迎え、ものづくりのスペシャリストである町内企業10社が集まり、技術力を結集して完成させました。



これまでの「ものづくり」だけではなく、未来をつくる新たな技術も誕生しようとしています。

地上の太陽とも言われる「フュージョンエネルギー」に関する開発や低コストで軽量・柔軟なペロブスカイト太陽電池の開発を行う事業所もあり、これからの持続可能な社会の実現には欠かせない分野です。

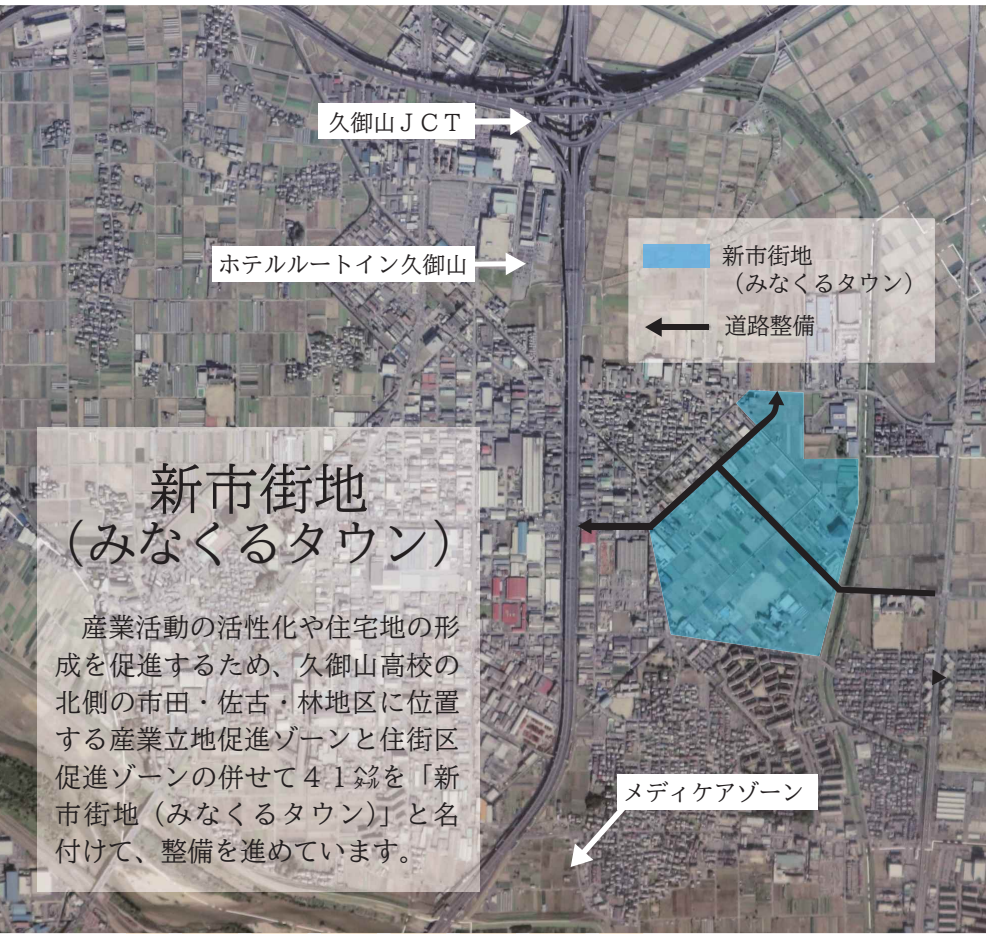
新たなエネルギー関連開発

産業の発信拠点

「ものづくりのまち」を町内外に向けて情報発信する「まちの駅クロスピアくみやま」。

久御山町産業売込み隊と地域の企業や団体などが協力し、新たな賑わいの創出や町内産業の活性化を目的に「クロスピア市」を開催しています。





新市街地 (みなくるタウン)

産業活動の活性化や住宅地の形成を促進するため、久御山高校の北側の市田・佐古・林地区に位置する産業立地促進ゾーンと住街区促進ゾーンの併せて41畝を「新市街地（みなくるタウン）」と名付けて、整備を進めています。

待望のホテル立地

久御山町南大内地区に「ホテルルートイン久御山」が令和7年3月にオープン予定です。久御山町とルートインジャパン(株)は、「災害対策、地元住民の優先雇用、地元農産物などの活用、環境への配慮、町内産業振興」に関する協定を令和5年に結んでいます。このホテルの完成により、クロスピアくみやま・ホテルルートイン久御山・イオンモール久御山が核となり、南大内地区の更なる賑わいの創出が期待されます。



安心できる医療・介護

佐山西ノ口に「くみやま岡本病院」が令和7年4月に開院予定です。これにより、急性期に対応できる「京都岡本記念病院」、回復期・リハビリテーションを担う「くみやま岡本病院」、介護サービスを提供する「特別養護老人ホームしみずの里」が同じエリアに集結し、メディケアゾーンが完成します。このメディケアゾーンが地域の皆さんの暮らしを支えます。

新たな希望

新たなまちづくり「新市街地」の整備や、病院・リハビリ・介護を一つのエリアに集約するメディケアゾーン、久御山町初のホテル建設など、これから新たなまちが創られていきます。



令和5年の総合防災訓練



災害時には自分の命は自分で守る「自助」、地域コミュニティといった周囲の人たちが協力して助け合う「共助」、そして公的機関による「公助」の連携が不可欠です。久御山町では5年に1回、久御山町と防災関係機関、災害応援協定を締結している団体、そして住民の皆さんとの連携を確認する総合防災訓練を実施しています。町だけでなく、御牧・佐山・東角校区それぞれの自主防災組織も防災訓練を実施しており、防災力の強化に努められています。また、久御山町では防災士の育成にも力を入れており、地域とともに防災力を高める取り組みを進めています。

住民の命を守る防災力

近年、全国で私たちの想像を超える災害が発生しています。皆さんの命を守るため、防災力の強化に力を入れています。また、この久御山町を守り、未来へ引き継いでいくため、環境基本条例を施行し、持続可能なまちづくりを進めています。

環境を守り 持続可能なまちへ

久御山町では、令和5年4月に久御山町環境基本条例を施行しました。環境政策の基本理念や方針などを定めた条例で、本町の良好な自然環境を適切に保全し、将来世代に受け継いでいくために住民・事業者・町がそれぞれの責務のもと、協力して取り組んでいくことを目的としています。毎年6月5日を「久御山町環境の日」とし、環境を未来へ守っていく取組を進めています。令和6年6月5日に「ゼロカーボンシティ宣言・デコ活宣言」を行いました。再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進などを行い、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロをめざし、持続可能な「環境都市くみやま」を創りあげていきます。



▲小学生を対象とした環境学習



◀「ゼロカーボンシティ宣言・デコ活宣言」をした信貴町長

久御山町の歩み

1954年
～
2024年

昭和

昭和29年	10月	御牧村と佐山村が合併し、久御山町が誕生（人口6588人、世帯数1235世帯、面積13.86平方キロメートル）
昭和30年	4月	町消防団発足
昭和31年	11月	初代町長に田村義雄氏を選出
昭和32年	10月	町長選で西村正作氏初当選
昭和33年	4月	国勢調査で町の人口6524人、世帯数1225世帯
昭和34年	6月	役場庁舎を田井に移転
昭和35年	2月	社会福祉協議会結成
昭和36年	11月	御牧保育所開所
昭和37年	6月	財政再建団体に指定
昭和38年	12月	淀中学校が京都市・久御山町事務組合立となる
昭和39年	4月	台風7号による集中豪雨で巨椋池干拓田冠水
昭和40年	8月	財政再建団体の指定解除
昭和41年	3月	町長選で澤野平右衛門氏初当選
昭和42年	4月	町長選で鶴ノ口平太郎氏初当選
昭和43年	1月	国道1号枚方バイパス開通
昭和44年	3月	町広報紙を創刊
昭和45年	10月	第1回町民運動会開催
昭和46年	4月	天ヶ瀬ダム上水道通水式
昭和47年	7月	ごみ収集業務開始
昭和48年	6月	上水道工事完成
昭和49年	10月	役場庁舎（旧）完成
昭和50年	7月	「町章」制定
昭和51年	6月	町の人口1万人突破
昭和52年	3月	商工会発足
昭和53年	6月	国道24号大久保バイパス開通
昭和54年	4月	建設省久御山排水機場完成
昭和55年	8月	都市計画の用途地域決まる
昭和56年	12月	消防本部・消防署発足
昭和57年	6月	住民憲章・町のうたを制定
昭和58年	3月	久御山中学校開校、東角小学校開校、佐山幼稚園開園、宮ノ後保育所開所
昭和59年	8月	久御山団地入居開始
昭和60年	11月	中央公民館オープン
昭和61年	3月	新消防庁舎完成
昭和62年	11月	佐山排水機場完成
昭和63年	4月	新淀大橋完成
昭和64年	3月	第1回町民文化祭開催
昭和65年	11月	中央公園野球場オープン
昭和66年	4月	東角幼稚園開園
昭和67年	11月	「くみやま音頭」ができる
昭和68年	9月	府立久御山高等学校開校
昭和69年	4月	御牧幼稚園開園
昭和70年	7月	青少年健全育成協議会発足
昭和71年	4月	木津川河川敷運動広場オープン
昭和72年	7月	荒見苑オープン
昭和73年	4月	町民プールオープン
昭和74年	7月	町長選で田口清氏初当選
昭和75年	8月	京滋バイパス一部開通
昭和76年	8月	国道24号大久保バイパス北伸部開通
昭和77年	9月	体育協会発足
昭和78年	10月	京都国体秋季大会開催（サッカー・馬術）



		令和6年		令和5年		令和4年		令和3年		令和2年		令和元年		平成31年		平成30年		平成27年		平成25年		平成24年		平成23年				平成22年		平成21年		平成20年		平成19年		平成17年		平成16年				平成15年		平成12年		平成11年		平成10年		平成9年		平成8年		平成6年		平成5年		平成4年				平成元年	
6月	4月	4月	4月	4月	11月	11月	5月	5月	1月	9月	11月	10月	5月	4月	12月	9月	4月	4月	4月	12月	7月	8月	4月	4月					3月	3月	4月	4月	6月	3月	10月	8月	8月	5月	4月	4月			3月	8月	4月	8月	4月	3月	6月	4月		8月	1月	4月	4月	4月	4月	11月	10月	5月			

令和

平成

第1回町総合体育大会開催
平和都市を宣言
第1回ふるさとフェア久御山を開
総合体育館オープン
佐山保育所で0歳児保育始まる
3幼稚園で3歳児保育始まる
くみやま共同作業所開所
議会棟及び保健・地域福祉セン
オープン
京都総体（インターハイ）開
ットボール・サッカー）
シルバー人材センター設立
町防災行政無線システム開
交通安全推進のまちを宣
財団法人町文化スポーツ事業
ゆうホール・図書館オープン
新役場庁舎完成
町長選で坂本信夫氏初当選
第二京阪道路部分開通・久御
ンクシヨソ供用開始
いきいきホールオープン
東角幼稚園で幼保一体的運
商工会館完成
京滋バイパス全線開通
「旬菜の里」オープン
男女共同参画都市を宣言
巨椋池排水機場完成
国道1号京都南道路開通
のってこバス運行開始
あいあいホールオープン
住所表示変更（大字小字を
新木津川大橋開通

クロスピアくみやまオープン
久御山中学校の改築工事完
町長選で信貴康孝氏初当選
山田家住宅の寄贈を受け、町
財として保存
のってこバスに代わり、の
クシー運行開始
町立保育所・幼稚園を認定こ
に移行
さやまこども園開園
中学校給食開始
新市街地「みななるタウン」
あたたかい手の言葉でつな
御山町手話言語条例施行
同報系防災行政無線の運用
のってこ優タクシー運行開
「町の鳥」制定
くみやま夢タワー137点灯開
中央公民館閉館
とうずみこども園リニュー
新型コロナウイルスワクチン接
東京2020オリンピック聖火
ー実施（京都スタジアム）
歩くまちを推進する都市を
全国茶品評会産地賞受賞
みまきこども園リニューアル
ン（町内全てのこども園の施
化整備完了）
久御山町環境基本条例施行
全世代・全員活躍まちづく
ー建築工事着工
ゼロカーボンシティ宣言・デ



町章

昭和44年（1969年）10月制定

久御山町の頭文字「久」を図案化したものです。町民の親睦と団結を太い円で表現し、さらに産業、文化など、町勢の飛躍的发展をはばたく鳥の姿で表現しています。

住民憲章

昭和50年（1975年）3月制定

わたくしたちは、心とからだをきたえ、健康で明るい、住民生活優先のまちづくりを進めましょう。

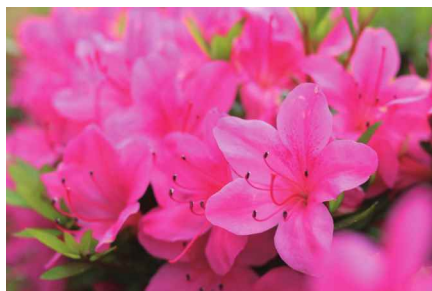
わたくしたちは、澄んだ空、美しい川、花と緑の自然を守るため、公害の防止と排除に努めましょう。

わたくしたちは、おとしよりや不自由な人を大切にし、青年や子どもたちみんなが、夢と希望のもてる地域社会をつくりましょう。

わたくしたちは、お互いに助け合い、手をたずさえて、よりよい環境と健全な家庭を築きましょう。

わたくしたちは、心から平和を愛し、お互いの人権を尊重して、暮らしを高めましょう。

町の花／さつき



ツツジ科の常緑低木。5月下旬～6月上旬に鮮やかな紅紫色の花を多く咲かせ、まちを彩ります。

町の木／さざんか



ツバキ科の常緑広葉樹。初冬に白色か淡紅色の大きな花をつけます。花が少ない冬の季節を彩ります。

町の鳥／ケリ



ハトくらいの大きさで翼は白く、先端の黒色とのコントラストが目立つ鳥で、水田や畑などで見ることができます。

久御山町 町勢要覧

Guide to Kumiyama Town

発行 久御山町 総務課 秘書広報係
京都府久世郡久御山町島田ミスノ 38 番地
TEL 075-631-9991 / 0774-45-3922
HP <https://www.town.kumiyama.lg.jp>

令和6年（2024）年10月発行